

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和01年12月06日

計画の名称	都市公園の長寿命化による安全安心なまちづくり（防災・安全）												
計画の期間	平成26年度～平成30年度（5年間）										重点配分対象の該当		
交付対象	八尾市												
計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>公園施設長寿命化計画に基づく効率的・効果的な公園施設の改築・更新を実施し、市民が安全に安心して利用できる公園づくりを目指す。</li> <li>実施設計ではワークショップ方式などの手法を用いた市民参画のもと公園整備を検討し合意形成をはかることで、防災意識の向上や地域コミュニティの再生について理解を促進し、地域の多様なニーズに対応した公園再整備（リニューアル）を実施する。また、整備にあたっては、高齢者、障がい者等の移動又は施設の利用に係る身体の負担を軽減するため、公園の出入口や園路などの施設について移動円滑化整備を行い、公園利用者や地域住民の安全・安心を確保する。</li> </ul>												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	121	A	92	B	0	C	29	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	23.96	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H26当初)	中間目標値 (H28末)	最終目標値 (H30末)
1	平成30年度までに、87箇所において公園施設長寿命化計画に基づく公園遊戯施設の改築を行い、改築を実施した公園遊戯施設の割合を0%（H26）から51.4%（H30）に増加 長寿命化計画に基づく遊戯施設の改築を実施した公園遊戯施設の割合 改築等整備を実施した公園遊戯施設数 / 改築等整備が必要な公園遊戯施設数	0%	14%	51%
2	移動円滑化基準に適合する再整備（リニューアル）を実施した公園数を0公園（H26）から2公園（H30）に増加 移動円滑化基準に適合する再整備（リニューアル）を実施した公園数	0公園	2公園	2公園
3	公園整備検討会（ワークショップ）の参加人数を0人（H26）から75人（H30）に増加 公園整備検討会（ワークショップ）の参加人数	0人	75人	75人

備考等	個別施設計画を含む	<input type="radio"/>	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	-----------------------	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H26	H27	H28	H29	H30				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	八尾市	直接	八尾市	-	-	八尾市都市公園施設長寿命化対策支援事業	跡部本町公園等87箇所における遊戯施設の改築	八尾市						92		策定済	
												小計						92		
											合計						92			

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H26	H27	H28	H29	H30				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
都市公園・緑地等事業	C12-001	公園	一般	八尾市	直接	八尾市	-	-	八尾市都市公園再整備事業	測量・実施設計、整備工事	八尾市						29		-	
		長寿命化対策支援事業と一体的に再整備事業を地域住民の合意のもと実施することで、多様なニーズに対応した公園づくりが可能となり、地域による安全安心なまちづくりの活力が向上する。																		
												小計						29		
											合計						29			

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
本市都市整備部内の組織にて評価を実施	令和元年11月
	公表の方法
	八尾市ホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長寿命化計画に基づく遊戯施設の改築を実施したことにより、公園利用者への安全と安心の向上がなされた。</li> <li>・地域の意見を取り入れた公園の全面再整備により、新しく、且つ、機能的になった結果、公園利用者が増加した。また、公園ボランティアなどの活動が活発になったため、地域の交流が活性化した。</li> </ul>
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出入口、園路及び広場のバリアフリー化により、お年寄りや障がいをお持ちの方など、より多くの方が、安全で安心して公園を利用できるようになった。</li> </ul>
特記事項（今後の方針等）	
今後も、公園施設長寿命化計画に基づき施設の維持・修繕・更新を効率的かつ効果的に実施していく。	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	指標（長寿命化計画に基づく遊戯施設の改築を実施した公園遊戯施設の割合）		
	最終目標値	51%	遊戯施設の現地調査の結果、全体的な劣化や損傷が見られない施設の更新時期を先送りしたため。また、交付金額の減少により、施設数を減じたため。
最終実績値	42%		
2	指標（移動円滑化基準に適合する再整備（リニューアル）を実施した公園数）		
	最終目標値	2公園	
最終実績値	2公園		
3	指標（公園整備検討会（ワークショップ）の参加人数）		
	最終目標値	75人	
最終実績値	108人		